



興南一浦添商 第1延長前半、サイドからシュートを決める興南の山下双葉=15日、沖縄市の県総合運動公園体育館（喜瀬守昭撮影）

ハイライト

2度の延長戦までもつれ、33の場面興南の山下双葉が相手守備をかみ逃げ切った。ゲームの再開となる中、33わず巧みなゴールで逆転に豊富な運動量と猛攻を任

興南 競り合いで底力

ハンド九州高校選抜県予選
 八日ホルの第2回トーナメント旗争第53
 回九州高校選抜大会県予選終了は15日、沖縄市の
 県総合運動公園体育館で男女決勝が行われた。男子

は2度の延長の末、興南が浦添商を39-35で下し、8年連続34度目の頂点に立った。女子は浦添が那覇西を31-23で下し、2年連続11度目の優勝を果たした。優勝、進出した各校は全国選抜大会出場を懸けて、九州大会（2025年2月8-10日、鹿児島県）に出場する。

興南(男子) 浦添(女子) V



男子優勝の興南

掛ける相手に押し続けられた興南、4連続失点からのスタートでチームは集りが生じた。追い打をかけるように、浦添商は人攻撃を展開。これには、想定外だった（高岡晃大主将）と苦笑い、得点の赤瀬高太郎（2年）が徹底的にマークされる中で、横一戦の守備ラインを遂動かし、駆け引きを続けた。興南の1点ハントで迎えた後半残り1人。外間一志（2年）が守り下か、立ち上がりは納得してない」と九州大会に向けて攻守の修正を目指す。（渡真利優人）

最期の延長戦では興南の2点リードから終盤で追が同点に迫りつづき、意地のかかり合いが続いた。高岡主将は、10番以上をつけた勝利を目標としていただけに「納得のゲーム展開はなかった」と喜びは少なかつた。勝利に貢献した山下は「シニングゲーム展開で流れを引き寄せる目を果たせた。どうなる。一方立ち上がりは納得してない」と九州大会に向けて攻守の修正を目指す。（渡真利優人）

▽男子決勝	興南	39	1313
▽女子決勝	浦添	31	1318
	浦添	1310	23
	那覇西	35	1214



浦添一那覇西 前半、好セーブを見せる浦添のGK新垣瑠唯=15日、沖縄市の県総合運動公園体育館（喜瀬守昭撮影）

新人大会の雪辱果たす 浦添 GK新垣、鉄壁の存在

〇：持ち味の堅守速攻が光った女子の浦添は、高校新人大会決勝で敗れた那覇西を下し、栄冠をつかんだ。大城詩主将（2年）は「守って速攻でシュートを決めたい」と目を輝かし、喜んだ。存在感を養ったのはGKの新垣瑠唯（1年）。持ち前の反射神経で、鉄壁としての役割を果たした。177センチの新垣は「身長が高い分、足元が狙われやすい」とは知っていた。何度も対戦経験のある那覇西のシュートコースを事前に分析し、サイドやロングを中心に次々にセーブした。1年生ながら丸出しに集中心力は切れず、ボールは止めやすかつた」とチームメイトに感謝した。（渡真利優人）



女子優勝の浦添